

# 戦国黒井まち歩き



国指定史跡「黒井城跡」



お福像(JR黒井駅前)

建武2年(1335)、猪ノ口山の山頂に赤松筑前守貞範が簡素な砦を築いたところから黒井城の歴史は始まります。その200余年後、天文23年(1554)に城主となった赤井(荻野)直正が大改修をおこない黒井城は雄大な戦国の山城として生まれ変わり、城下町の整備も進められました。城下町は安政5年(1858)の大火で大部分が焼失してしまいましたが、幅の広い大手道や、防御のために曲がりくねった道、下館跡(現・興禅寺)の七間濠や高石垣などに戦国時代の面影を見ることができます。また、大火から再興した町のいたるところには、火伏せの神である愛宕神社が祀られており、大火の歴史を風化させることなく現代に伝えていきます。

黒井地区は町の周辺が野戦攻防の好条件を備えていました。町のすぐ南をくねる黒井川と川沿いの湿田が、天然の「泥田堀」となって人馬の往来を阻んでいたことによります。天正3年(1575)の明智光秀の丹波攻めでは、その深い水田地帯に追い込まれた明智光秀は動きが取れず、大敗した一因となっています。直正の死後、織田方に落ちた黒井城には明智光秀の重臣・斎藤利三が入城。黒井城の下館(現在の興禅寺境内)で生まれた利三の娘がお福、のちの春日局です。お福は物心つく3歳の冬までここ黒井で育ちました。



大手道



上ヶ町愛宕神社



若年神社の白蛇伝説

## ここが面白い!!

## おすすめモデルコース



## ガイドさんと振くと、もっと丹波が好きになる!

「丹波市ええとこガイド」は、丹波市内の観光スポットの案内のみならず、土地土地の生業・人・暮らし・産業などにも焦点を当てながら、まごころを持って丹波市の魅力をご紹介します。そんな団体です。一緒に丹波のまち歩きを楽しみましょう。



### ガイド1名あたりの費用

交通費・・・・・・・・・・ 1日あたり 1,500円  
 山登りを伴う場合・・・・・・・・・・ +1,500円  
 昼食時間を含む場合・・・・・・・・・・ +1,000円

### 1団体あたりの費用

ガイド団体維持協力金・・・・・・・・・・ 1,000円

※詳細・お申込みは丹波市観光協会公式HPをご確認ください。

## 丹波市ええとこガイド

## お願い

城下町は歩道のない道路や見通しの悪い角が多くあります。通行する車両に十分ご注意ください。城下町は地域の方の生活空間です。大声で騒いだり、私有地に無断で立ち入ったりしないでください。特に夏場は小まめに水分補給をおこない、熱中症の予防を心掛けましょう。黒井城跡へ登る場合は登山の装備が必要です。軽装での登山は危険ですので控えてください。

## 兵庫県

### ★春日町黒井 黒井駅までのアクセス



お問合せ・ガイド申込

丹波市観光協会 かいばら観光案内所

〒669-3309 兵庫県丹波市柏原町柏原 3625

営業時間 10:00～16:00  
 年末年始・火曜定休(祝日の場合は翌休)

TEL **0795-73-0303**

FAX 0795-86-8750

発行 一般社団法人丹波市観光協会

監修 丹波市ええとこガイド

